

明石市議会議員 井藤圭順 レポート

人づくりのまち 明石をめざして



ごあいさつ



【令和2年6月本会議質問】

平素は井藤圭順の議員活動、後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年初めより世界中で猛威を振るう新型コロナウィルスですが、国内では緊急事態宣言が解除され経済活動や学校授業が再開されました。

そんな中、国民が危惧するのはやはり第2波の襲来です。今回は教育現場における第2波に備えた明石の取り組みについて質しました。

教育保育施設のコロナ対策について

質問

(1) コロナ下における学校行事について

近隣市である加古川市では小中学校の修学旅行以外の学校行事全般を今年度は中止とすることと、夏休みの短縮により年間授業時数を確保したとの方針が示されました。これを踏まえ、井藤圭順はこれまでに保育園長とPTA会長ならびに連合PTA会長に長年携わってきた教育者の立場として、学校行事そのものは児童・生徒が人間形成を育む上で必要不可欠なものであると考えています。



そこで明石市としては、すべてを中止することで決着するというのではなく、大人たちが知恵を出し合い、どのような方法や対策をとれば感染リスクを避けられ、安全を確保できるのかを子どもたちのために示さなくてはなりません。これらのこと踏まえ学校行事に関して市の方針を質問しました。



答弁

教育局長

臨時休校を続けていた学校が6月1日より再開となりました。学習面においては夏休みを短縮することで授業実数を確保するほか、教育課程を組みなおして対応します。学校行事は児童・生徒の学校生活に潤いをもたらし、望ましい人間形成に大切なことから教育課程に適切に組み込んでいかなければなりません。感染防止の関係上、すべての学校行事を例年通り行うことは困難ですが、中止することを前提とするのではなく、感染防止対策を十分に行い、内容の見直しや変更をするなど工夫しながら実施できるよう引き続き学校に指導していきます。

質問 (2) 修学旅行への助成について

中学校の修学旅行は集約指定列車の利用により特急料金がほぼ半額になります。しかし、今回は大半の学校が延期をしたことで集約指定列車が利用できなくなり、追加費用が保護者負担となってしまいます。その割引料金を含め、やむを得ずキャンセルが発生した場合などの費用を助成すべきと考えます。このような視点から修学旅行に対する方針を質問しました。



答弁 教育局長

修学旅行については当初1学期（5月・6月）に実施予定の多くが延期しており、各学校で感染防止に努めながら実施する方向で現在検討しています。なお、新幹線の利用については集約指定列車を利用することで特急料金が約半額になりますが、本年度に限り特例として日程変更しても特急料金が割引になることを確認しています。また、キャンセル料発生期日までに日程変更や行先変更を行うことによりキャンセル料金が発生しないよう取り組んでいるところです。



質問 (3) 認定こども園・保育園との今後の連携について

認定こども園と保育園は各教育施設が休校となる中、日曜日と祝日以外は開園しています。4月7日に兵庫県に緊急事態宣言が出たことで明石市内の保育施設の登園自粛や家庭保育の協力が始まり、4月18日には一部園児を預かる特別保育に移行しました。保育現場は3密が避けられない環境下にあり、当初は感染防止用品の不足なども相まって保育士の感染リスクが高く精神的にも疲弊していました。保育士は医療関係者や介護職員同様、社会活動を維持するため使命感と責任感を持って勤務しています。市としては少しでも彼らの負担を軽減すべく現場の声をしっかりと組み上げ、第2波に対してこれまで以上に連携していかなくてはなりません。このことから今後の方針を質問しました。



答弁 こども育成部長

これまで市内すべての就学前施設に対し、情報共有と連携に努めてきました。特に感染状況の拡大に伴う登園自粛要請、特別保育の実施について各施設長あてに通知文を送付し、園からは日々の児童数の利用実績の報告を頂くといった取り組みを行ってきました。



また、各保育施設や事業法人との意見交換を月1回実施し、待機児童対策をはじめ各種施策の実施や子供子育て支援事業計画の策定に際して説明し、同時に現場の意見を頂いています。認可外保育施設については職員や保育士OBである巡回支援員が訪問し実態把握するとともに悩み相談や質問を受け、アドバイスを実施していますが、今年度は職員を増員し認可保育施設にも巡回訪問支援を拡大する予定です。



質問 (4) 保育士の確保について

明石市では来年度に保育施設等の園児の受け入れを 1500 人拡充することとなって います。そのためには新たに保育士等職員が 200 人以上必要となります。この感染リスクのある状況下では保育士養成校の生徒や就職希望者が例年のように就職活動をすることが厳しいと感じます。そこで就職フェアの実施など保育士確保に向けた今後の取組みについて質問しました。



答弁 こども育成部長

本年 4 月時点で 365 人の待機児童が発生しています。そして 1500 人受け入れ枠増に対する保育士確保として約 220 人の保育士確保を必要と考えています。これに対し以下の取り組みを行ってきました。

就職フェアの開催
就労支援
宿舎借り上げ
定着支援金の給付



各保育園の就職フェアのブース

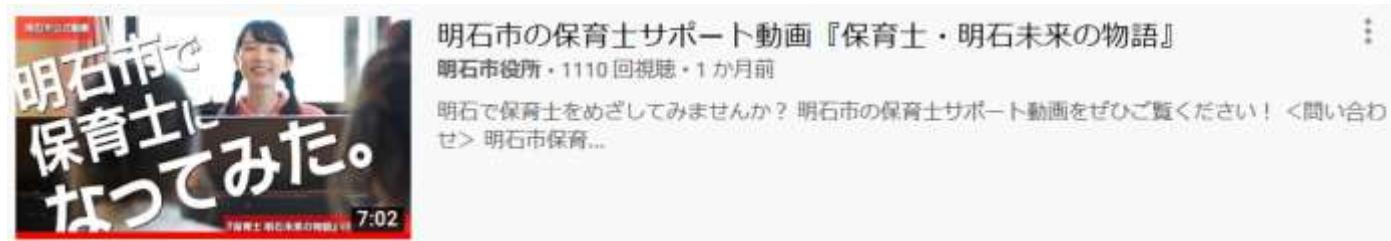
しかしながら現状では対面型で行う就職フェアを実施することが困難な状況です。この度 6 月 21 日に予定していた就職フェアは電話対応とします。

また、明石市としては新たに以下の保育士就職サポートを実施いたします。

保育士総合サポートセンターのホームページ機能の強化
L I N E を活用した施策や保育施設の情報発信
保育士ライフデザインイメージ動画の作成
YouTube を活用した動画投稿
保育士養成学校への動画紹介
これまで最大 150 万円だった定着支援金の増額(最大 160 万円)



【新ホームページ画面】



【YouTube に投稿した明石市保育士サポート動画画面】

ほかにも保育士が研修などで不在となる中でスポット的に勤務する代替保育士をマッチングする新たなシステム構築のための補正予算案を提案中です。

答弁

泉市長



まず大前提として、明石市は子供を核としたまちづくりを進めてきました。待機児童の問題についても量のみならずしっかりとした質の確保をやっていくとお伝え申し上げており、今回の補正予算でもそれに沿った予算計上を改めていたします。もう一つ重要なことはまさしく現場が大事だということです。先ほどの質問の教育もそうですが、特に教育・保育については現場こそが重要であり、現場のニーズを的確にしっかりと把握し、応援していくことが重要であると思っています。子供の立場にたち、子どもや保護者や保育士、保育協会の事業者の方々からしっかりと声を聴くことは重要であり、しっかりと務めていきたいと思います。

答弁を受けて

子育て日本一を目指す明石市ならではの意欲的な答弁を市長ならびに各部署より頂きました。市内に多数ある教育保育施設についてですが、学校園の規模や構造も違えば生徒数も地域性も違います。明石市としては大変なことでしょうが、各学校園に対してきめ細やかな対応をしていただき、現場の声にしっかりと耳を傾けることが望まれます。

安心・安全な教育環境をサポートできるよう、井藤圭順は今後ともしっかりと現場と行政をつないでまいります。

これからも『明石で育ってよかった』『明石で子育てしてよかった』とひとりでも多くの人に思ってもらえるよう井藤圭順は強い覚悟をもって議員活動を続けてまいりますので、ご支援いただきますようよろしくお願いします。



最後に

これまで自民党真誠会とともに新型コロナウィルス感染症の緊急対策として3月議会を皮切りに明石市独自の対策をはじめ数々の補正予算を成立させてきました。特に以下の「**明石市独自の10の支援策**」や「あかし支え合い基金」には私の思いが詰まっています。家賃などの緊急融資に始まり学費貸与、生活困窮者対策、ひとり親家庭、子育て世帯手当、高齢者障害者サポート、水道料金、絵本の宅急便、子ども食堂、市民税延長の10項目からなります。

これから厳しい暑さが続きますが、皆さまには手洗いと消毒をこれまで以上にしっかりと頂き、密を避けるよう心がけてください。また、私を見かけた際にはお声かけ頂けたら有難く存じます。

『**教育**』『**街づくり**』『**福祉**』『**防災**』のエキスパートとして、人づくりのまち明石をめざして働いて参ります。



【井藤圭順後援会事務所】

〒673-0845 明石市太寺2丁目10-35

TEL : 078-911-4087 FAX : 078-911-3753

MAIL : keijun@taidera.jp

ホームページ : <http://taidera.jp/keijun/>

